



長寿を祝う家族に囲まれて記念写真に納まる小寺さん

健康長寿満100歳おめでとう

4月1日、小寺ちせさん（富范町屏風山）がめでたく満100歳の誕生日を迎えられ、長寿を祝いました。ちせさんは明治41年4月1日生まれで旧稲垣村下繁田出身。若い頃から農業を手伝い裁縫が得意なちせさんは、夫の竹松さんとは死別してはいますが子供5人、孫13人、ひ孫22人、玄孫2人に恵まれ、現在は二男の平内さん夫婦と3人で暮らしています。

自宅を訪れた福島市長は顕彰状、花束と祝金を贈呈し「健康には気をつけて105歳、110歳と長生きしてください」とお祝いの言葉を述べると、ちせさんは「はい、はい」とうなずき「ありがとうございます」と笑顔をみせていました。

ちせさんはプリンが大好きで毎日欠かさず1個食べるのが日課だそうです。

弘南バス路線廃止による乗合タクシーを運行

4月7日、市は3月31日で廃止路線となった弘南バスの2路線（「富范・中里線」、「稲垣・牛瀧線」）の代替措置として乗合タクシーの運行を開始しました。乗合タクシーは車力地区のタクシー会社2社に業務委託し、牛瀧町の山陰バス停前から中里高校前までの約15キロを運行します。主に中里高校に通学する高校生の足となりますが、市民も乗車することができ、料金は初乗り100円、最高でも400円という料金でバスの回数券を利用した場合より割安に設定されています。

市としては1年間実証実験として運行し、利用状況や経費との兼ね合いを考慮しながら、市民にとって便利な交通手段を検討していきます。



山陰バス停前から出発する乗合タクシー



県内初となる4トン級の消防ポンプ自動車（CD-II型）

県内初の消防ポンプ自動車（CD-II型）を購入

つがる市消防本部は、県内14消防本部で初となる消防ポンプ自動車（CD-II型）を購入しました。

このCD-II型はCAFSシステム（圧縮空気泡消火装置）が備えられていて従来の7～8倍の消化能力があり、延焼防止や火勢鎮圧に大きな効果を発揮できます。

また、使用する水量は従来の17分の1で済み、ホースの中を高圧の泡が走ることから放水反力が非常に少なく、1人放水も可能とされています。

出勤しないことに越したことはないですが、万が一の事態には被害を最小限に食い止めてくれることでしょう。【車両価格 35,857,500円】

成田
悦雄
氏



教育委員に成田悦雄氏

教育委員の任期満了に伴い、新たに成田悦雄さん（富蔭町去来見）が就任しました。

成田さんは、旧車力村産業振興課長、総務課長、収入役、つがる市行政改革推進委員会会長を歴任し、「今後は、学校教育、社会教育等の分野で教育力向上のためにがんばります」と述べていました。

任期【平成20年3月31日～平成24年3月30日】

通報者用カメラ通信システムを導入

つがる市消防署車力分署に火災、救急、交通事故等が同時に発生し分署内の職員が全員出動して不在となった場合、かけ込み通報者の救急車出動依頼に対応するため、「通報者用カメラ通信システム」が導入されました。

このシステムは、車力分署の車庫内に設置されておりカメラ、モニター、電話機を通してつがる市消防署通信指令室とお互いの顔を見ながら受け答えが出来るため、救急車到着までの間に適切な指示を出したり、救急車に正確な情報を送ることが出来ます。

車力分署からの通信システムを受信する消防署通信指令室のシステム



車力分署車庫内に設置されている
通報者用カメラ通信システム



■障害者就業・生活支援センター月見野

つがる市森田町月見野473-2
運営時間／平日午前8時30分～午後5時15分
（土、日、祝日も相談できます）
TEL：0173-26-4242 FAX：0173-26-4243
E-mail：shien@kensei-yume.jp

障害者の就業支援 【西北五地域に初】

森田町にある社会福祉法人「健誠会」が国と県からの指定を受け平成20年4月から障害者就業・生活支援センター月見野（木村博行所長）を開設しました。

同センターの開設は、弘前市、青森市、八戸市に続き4番目となり西北五地域では初の開設で、活動地域としては西北五地域障害保健福祉圏域に属するつがる市、五所川原市、鱈ヶ沢町、深浦町、鶴田町、中泊町の2市4町です。

就業を希望する障害者を対象に就業基礎訓練、職場見学、実習、就業後の生活支援等を行っていきます。また、ハローワーク、障害者職業センター、行政等とネットワーク体制が出来ているため福祉サービスの利用手続きの相談にも応じることが出来ます。相談は無料ですのでお気軽にご相談ください。